

令和8年度 学校経営の概要

1 学校教育目標

志に生きる ～みちのくの子ら眉高く～

◇ 志に生きる

- ・ 志とは、個人の夢や目標にとどまらず、人々の幸せのため、社会のために何かを成し遂げようとする思い
- ・ 世のため人のために貢献できる人間の育成

◇ みちのくの子ら眉高く

- ・ 「国はらに雪しろがねに 厚く鎧いておおえども」に続く、校歌の一部分
- ・ 風雪（苦難）に耐えながらも、前（将来）に向かい、眉を上げ（志をもち）大きく目を見開いている生徒の姿

2 めざす生徒の姿

- 志を掲げ、努力する生徒
- 自分も仲間も大切にする生徒
- 自ら考え、行動する生徒

3 めざす教師の姿

- 生徒の思いを大切にし、成長を支える教師
- 同僚性を大切にし、チームで取り組む教師
- 主体的に学び続け、資質向上に努める教師

4 めざす学校の姿

- 一人一人を大切にする学校
※人に大切にされた子どもは、自分を大切にし、人を大切にする人間に育つ
- 家庭、地域と共に歩む学校
※「子どもは地域の宝」であることを踏まえ、家庭、地域と共に育てる

5 共通実践事項

一人一人を大切に ～安全・安心 居心地のよい学校～

6 経営の重点と具体策

(1) 一人一人にとって、安心して生活できる居心地のよい学校づくり

- ・全校生徒を全教職員で支援する体制の充実
- ・生徒に寄り添い、積極的に関わる粘り強い教師集団
- ・認め合い・励まし合い・支え合える学習集団の育成
- ・いじめ、不登校、特別支援等の校内委員会を機能させた組織的な支援
- ・事故防止に向けた安全指導の徹底と日常的な危機管理の推進

(2) 生き方を考えるキャリア教育の充実

- ・教育目標「志に生きる」を意識した計画的なキャリア支援
- ・他者への思いやりの心を込めた夢や目標をはぐくむ指導の充実
- ・家庭や地域との関わりを通して、自分の生き方や社会との結びつきについて考える機会の確保

(3) 一人一人の学びが深まる学習指導の充実

- ・南中「基本的な授業のプロセス」を基本とした授業づくり
- ・学ぶ意義を実感できる指導の工夫
- ・生徒が見通しをもち、主体的に学ぶ授業の展開
- ・自ら考え、選択し、決定する力を育む学習活動の保障
- ・共に認め合う場の創出
- ・生活に生きる「深い学び」の実現

(4) たくましく生き生きと活動する生徒の育成

- ・教師による居場所づくりと、生徒同士の絆づくりの支援
- ・お互いを認め合い、安心して過ごせる学校風土の醸成
- ・生徒の主体的な活動を支える教師の関わり

(5) 保護者、地域との信頼関係、連携体制づくり

- ・ホームページや学校報等での積極的な情報発信
- ・学校運営協議会等を通じた家庭・地域との協働
- ・地域と共に歩む学校づくりの推進